はりあいがあるねえ

「老人生きがい対策事業」がスタート

何か一つ打ちこむものを持っている人は、年をとらないといわれます。でも、総理府が実施した「老後生活に関する世論調査」によると、お年寄りの半数近くは、何の趣味も娯楽もない、と答えたそうです。

こんなことから、市では今年から「老人生きがい対策事業」を始めました。お年寄りが毎日はりを持って生活できるように――と願ってのことです。

「花に自分の心をうつして」と熱心な生花教室

たのしく・きびしく

この「老人生きがい対策事業」は、今年の八月から始めました。趣味を通じて友だちづくりを進めると同時に、何か一つ打ちこむものを持つことによって、毎日の生活にはりが持てるように、という願いをこめています。

お年寄りのみなさんの趣味にあわせて、民踊、楽焼、生花、絵画、囲碁・将棋、書道、民芸の七部門を用意しましたが、申込みもすこぶる順調。民踊などは百人近い参加者で、二部に分けなければならないほどの人気です。

月二回ずつ、老人福祉センターで行っていますが（楽焼だけは市民会館）、ちかぢか老人農園と老人スポーツ教室もこの部門に加える予定です。

デッサンから始めた絵画教室

老人福祉センター脇の空地には老人農園が予定されています

老人生きがい対策事業

老人の趣味というと、遊び半分と誤解されそうですが、けっしてそうではありません。生花を指導される奥村先生は、「楽しく進めることを心がけますが、厳しくやるところは厳しくやるつもりです。教えられるままの受身ではなく、積極的に、若いものに負けないくらい上達してもらいたいですネ。そうすることによって、一層生活にはりが出ると思いますよ」と、〝年寄りなんだから〟という甘えの気持ちは捨ててもらいたい、と話されています。

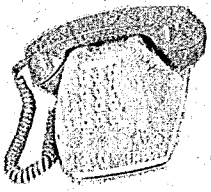
なお定員に余裕があるというわけではありませんが、六十歳以上で「私もやってみたい」という方は、社会福祉事務所（☎四―二二一一　内線二七二）へご連絡ください。

お買物、ご用命は市内で

おぼえる電話　プッシュホン

＊ボタン3つでつながる短縮ダイヤル
＊手軽で速い電話計算もOK

電話のむこうは　どんな顔　新津電報電話局（お申込は 4―1000へ）



近藤レイさん（本町4，83歳）

のん気だから…

生花をやるのは、生まれて初めてです。子どものときからやりたいなあ、と思っていましたけど、やっと念願がかないました。花を生けておくと、家の中が落ち着きますからねえ。

孫が十人もいて、すこしふしぶしが痛むようになりましたけど、嫁がよくやってくれるので幸せです。

のん気だから長生きできるんでしょうか。

大橋光枝さん（秋葉2，70歳）

今度は絵に挑戦

絵画教室で忙しくスケッチをしている大橋光枝さんにお聞きしました。

どうして絵を？

「絵はまったく初めて。でも、前まえから〝挑戦〟したいと思ってたんです」

自由時間を利用して、これまで俳句や書道を始めたという大橋さんは、「何でも挑戦の気持ちで、生活にはりをもって有意義に過したいですネ」と結びました。

吉川節さん（本町4，66歳）

〝我流はダメネ〟

花が大好きでしてネ。娘時代にちょっと習ったこともあるんですけど、そのままになってしまって…。二―三年前に、習いたいといったら、家の者が「いい年をして、やめろ」と大反対しました。でも、ここなら同じような年の人ばかりで気が楽です。

こうして先生に指導していただくと、我流ではダメだと痛感しますネ。

いつまでも元気でね

一小五年　浅野由起子

「ただいま」

「おかえり。今日は楽しくやってきたかい」

と、必ず、声をかけてくれるおばあちゃん。

「帰って来たか。大変だったろ」

と、にこにこ顔のおじいちゃん。

父や母が働いておそく帰って来ても、おじいちゃんやおばあちゃんが、元気でいてくれるだけで、ゆっくりテレビが見られるし、家庭学習のわからないところがあっても、安心して時間をかけてやることができるのです。

妹とふざけている間にも、夕ご飯のしたくが、すっかりできています。友達が、「きのうは、八時すぎに夕飯が終わったんだよ」と話しているのを聞くと、つくづく、おばあちゃんのありがたさがわかります。

でも、おばあちゃんは七十三歳。この間、茶わんを持つ手の人さし指が曲がり、いたそうにしているのを見て、ぎくっとしました。

あの手でご飯を作り、せんたくやそうじをしたり、短くなったスカートを直したりするがまん強いおばあちゃん。

妹が、むりにほしがって飼い始めたにわとりのせわも、そうじもしてくれるし、卵を産んでくれるし、ほんとうに、いつまでも元気でね。

参加者の声・こえ・コエ

七十五歳以上の方に敬老金

市では、今年も九月十五日の「敬老の日」に、七十五―八十四歳の方には二千円、八十五歳以上の方には三千円の敬老金を贈って、長寿を祝いました。

また、市内の最高齢者の杵潟フミさん（百二歳、金津）には、市長が訪問して、祝状と祝品を贈りました。

郵便局が米寿の方に湯のみを贈呈――＊

郵便局でも、米寿（八十八歳）を迎えられた方全員に、郵政大臣の祝状と湯のみを贈るそうです。当市の対象者は男女あわせて十九名です。

老後と国民年金

さきごろ、厚生省から発表された「昭和五十三年簡易生命表」によれば、日本人の平均寿命はさらに大きく延びて、男七十二・六九歳、女七十七・九五歳に達しました。この結果、男はスウェーデンを抜いて世界一に、女も同国などと肩を並べて世界一二を争う長寿国になりました。

長寿になったことにともなって、老後の経済的保障も気になりますが、そのために各種の年金制度があるわけです。

なかでも国民年金は、厚生年金などのほかの公的年金制度に加入していない、二十歳から五十九歳までの人は必ず加入しなければならないという制度です。

だれにも〝老後〟はやってきます。その時になってあわてても、もう間に合いません。〝老後の生活設計〟は、若いときからというわけです。

今では、七十五歳のおじいちゃんまかせです。「ほらほら」と言いながら、茶わんのごはんをやっているやさしいおじいちゃん。

苦労してきたのに、まだ、みんなのことばかり考えてくれるおじいちゃん、おばあちゃん。私は、もう五年生です。もっとたくさん手伝います。だから、いつまでも元気でね。

お買物、ご用命は市内で

メガネのことならご相談下さい
Nikon ニコンメガネレンズ
にいつ　メガネセンター
野本時計店　眼鏡部
本町3丁目　TEL 2―0070

ボリュームある肉料理専門店
とんかつ　すき焼
箱岩
新津南本町3　TEL 24516